

修学旅行 県内の中学校が来館。地球のダイナミズムを体感 **学びとともに、「思い出に残る体験学習」を満喫**

5月中旬、大館市の北陽中学校3年生が修学旅行でジオパーク学習センターに来館しました。当日は天候が良ければ男鹿半島・大潟ジオパークのジオサイト・安田海岸で地層観察をする予定でしたが、あいにくの雨天のため、ジオパーク学習センターでジオパークを生かした体験学習を2つ行いました。1つは「岩石標本観察」で、男鹿半島の堆積岩(砂岩、泥岩、礫岩)と火成岩(安山岩、花こう岩)の特徴を観察していただきました。もう1つは安田海岸で見つけた穴の開いた貝殻を利用してカラフルなビーズストラップを作ってもらいました(写真上)。完成品は修学旅行の思い出に素敵な袋に入れて持ち帰ってもらいました。限られた時間でしたが、みなさん楽しそうでした。体験学習の内容などにつきましては、目的に合わせて対応しますのでお気軽にご相談ください。



防災学習 地元の中学校が来館。自然災害の原因や歴史を学ぶ **地震、津波、火山噴火、洪水、土砂災害を想定、ハザードマップを読み取る**

5月中旬、男鹿市の男鹿南中学校1年生が「防災学習」を目的に来館し、地震、津波、火山噴火、洪水、竜巻、土砂災害の原因や地元の男鹿地震、日本海中部地震の災害の歴史、自然災害伝承碑、ハザードマップの見方などを学びました。併せて体験学習として地震の際の液状化現象実験(写真右)や竜巻実験も行いました。津波と波浪の違いや地震が発生した時間帯によって様々な被害があること、地層と災害リスクのかかわり、災害に遭遇した人たちの気持ちなども考えしてもらいました。ジオパーク学習センターでは、体験学習を含めた防災教育に力を入れています。「命を守る教育」として、学校教育や生涯教育にご利用ください。



SDGsを学ぼう 「男鹿半島と日本海」の持続可能な地域づくりを 海岸の調査からわかること

SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた動きが各方面で盛んになってきています。ジオパーク学習センターでは、「男鹿半島と日本海」に目を向けて海洋のごみについて調べています。安田海岸を調査したところ、ペットボトルのごみなどとともにマイクロプラスチックのごみが多く打ち上げられていました。

話題 ネットで好評。「ジオ太とジオ美の旅」のシリーズ



「ジオサイトの解説がわかりやすい」・・・ジオパーク学習センターが制作した「ジオ太とジオ美の旅」シリーズが、インターネットで好評です。

★感染予防

来館時は、マスク着用をお願いします。センターの入り口にはハンド用消毒液を用意していますのでご利用ください。